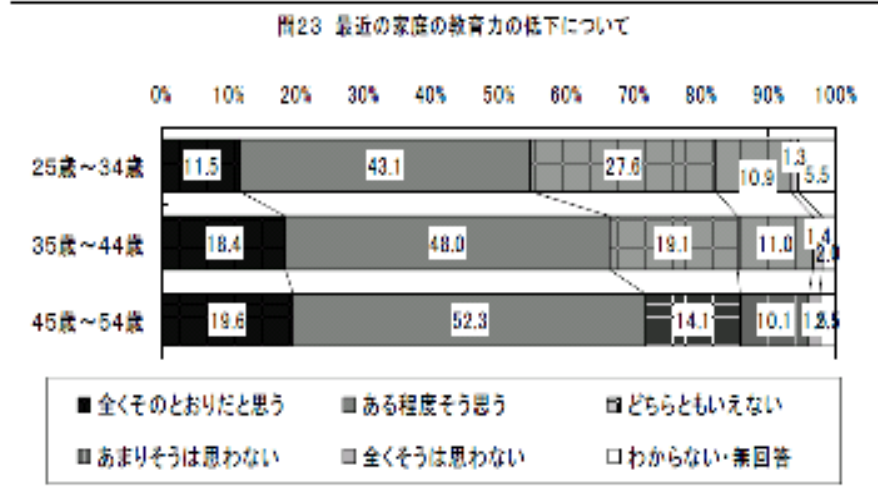
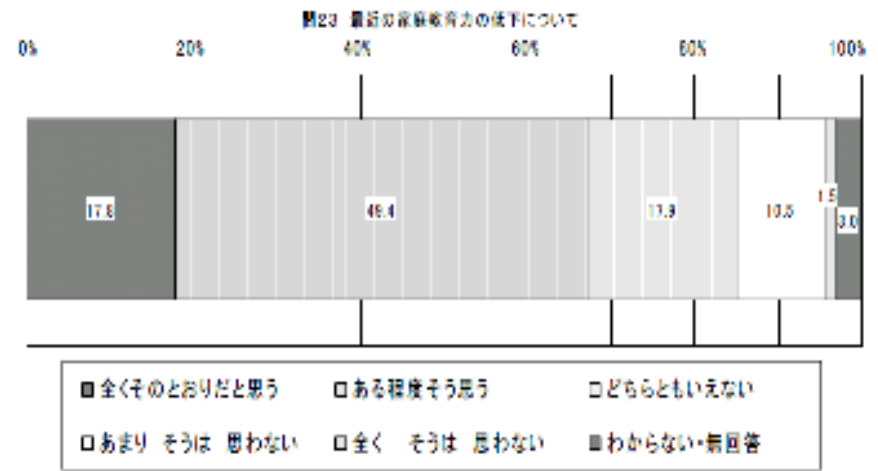


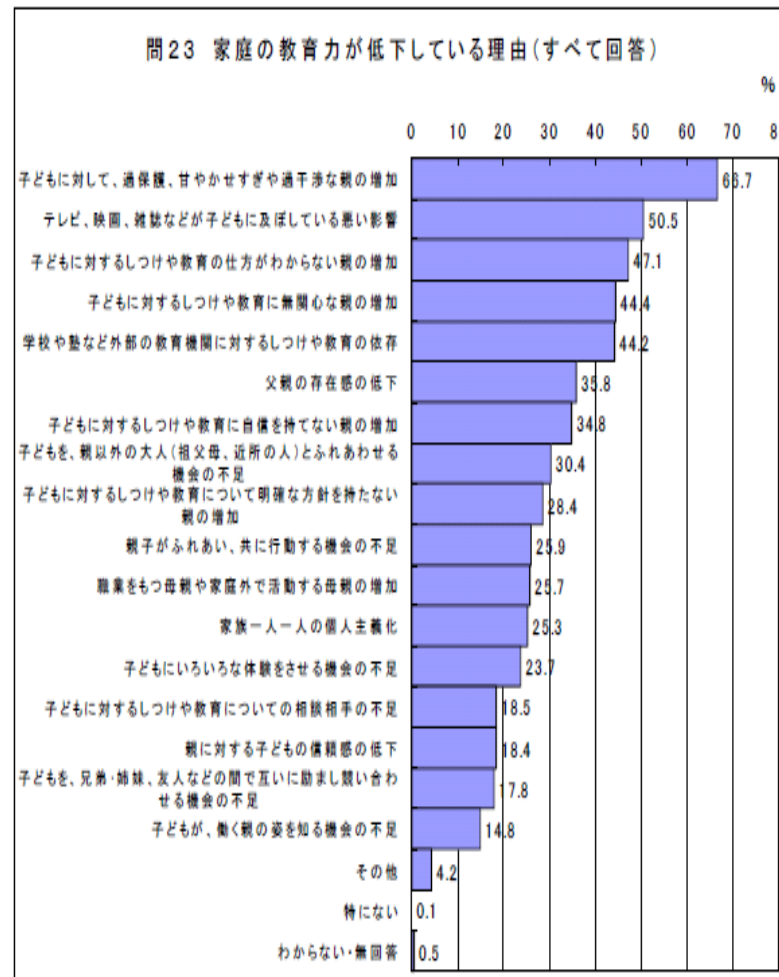
## IV 家庭・地域をめぐる状況

IV— 1. 意識調査の状況 ①家庭の教育力

約7割の親が家庭の教育力が低下していると実感。低下の理由の第1位は、「子どもに対して、過保護、甘やかせすぎや過干渉な親の増加」。



文部科学省委託研究「家庭の教育力再生に関する調査研究」(平成13年度) 調査対象：子どもと同居する親のうち、25～34歳の男女3,859人

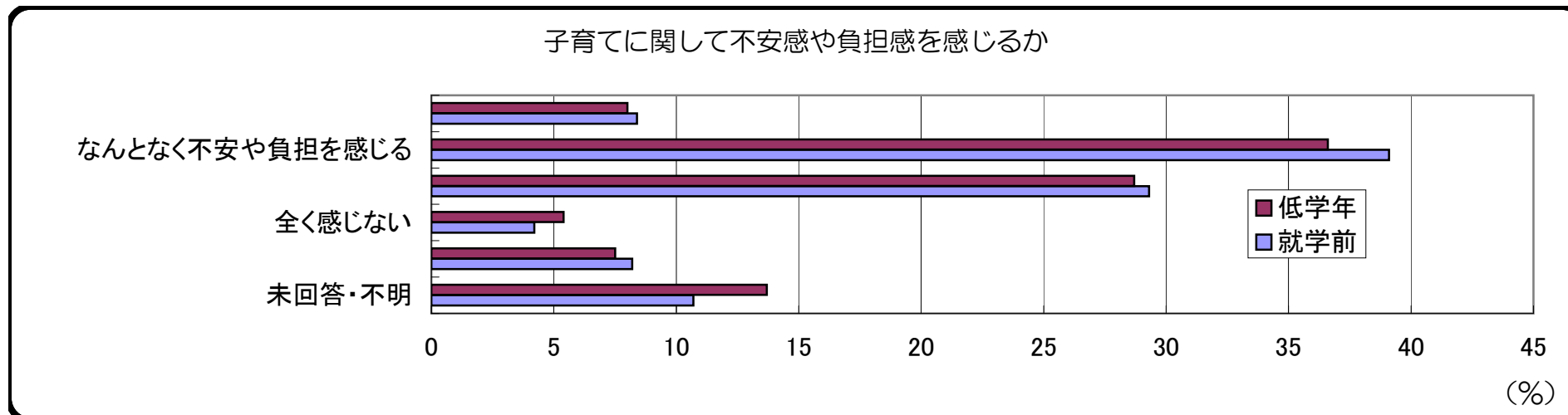


文部科学省委託研究「家庭の教育力再生に関する調査研究」(平成13年度) 調査対象：子どもと同居する親のうち、25～34歳の男女3,859人

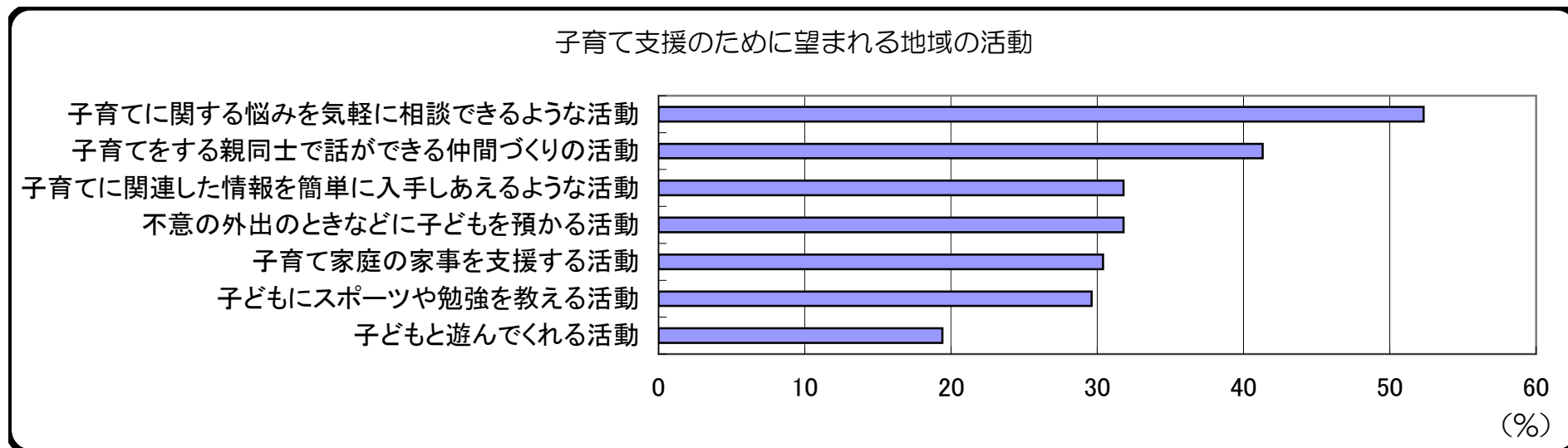
(参考資料) 中央教育審議会生涯学習分科会 第37回配布資料

IV- 1. 意識調査の状況 ②子育て

大阪府で子育てに不安や負担を感じる人の割合は、約半数。  
 子育てに関する悩みを相談できるような地域の活動を望む人が多い。



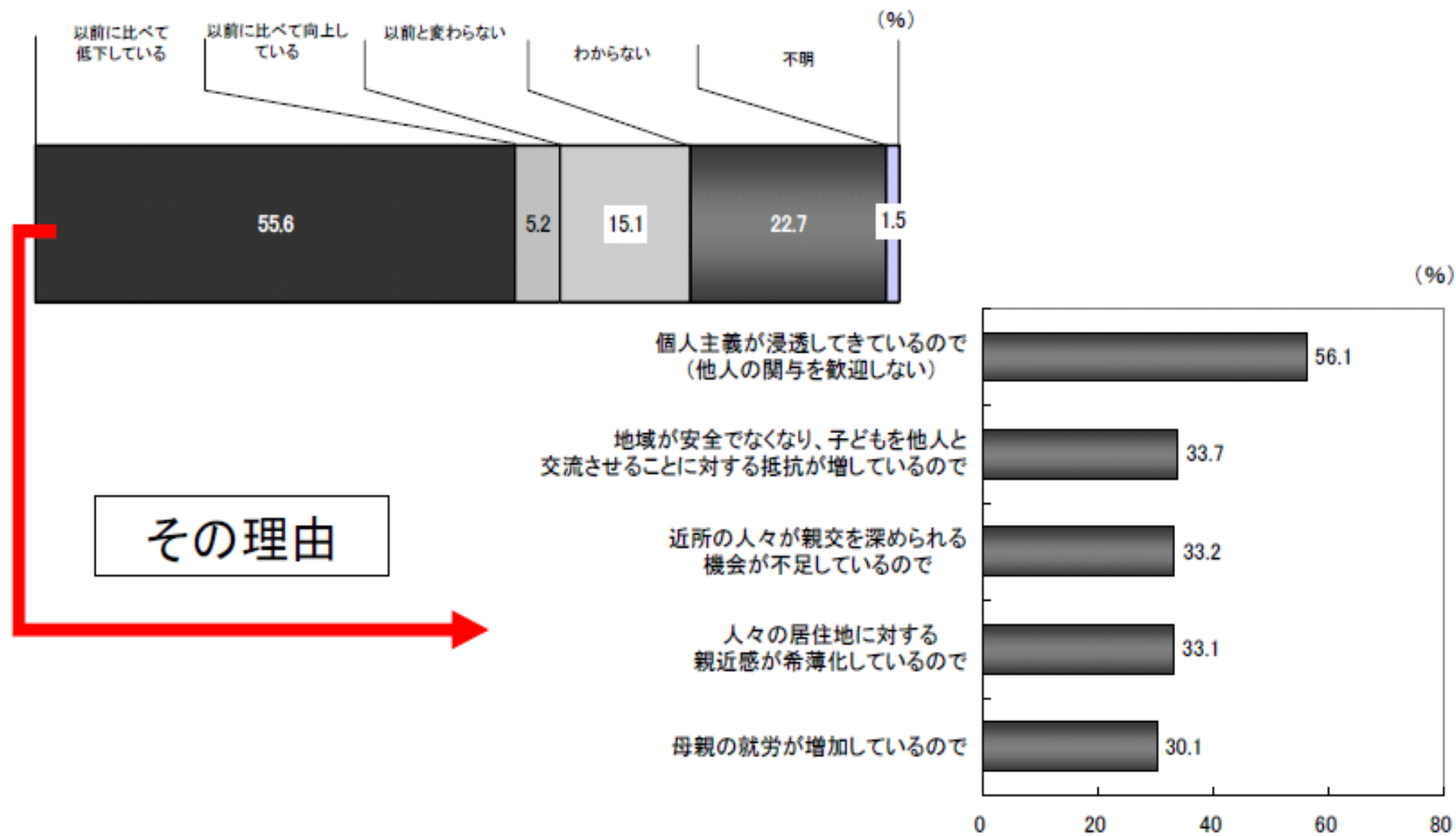
(参考資料) 大阪府「大阪府次世代育成支援に関する市町村ニーズ調査」(平成16年度)



(参考資料) 内閣府「国民生活白書」(平成19年度)

IV- 1. 意識調査の状況 ③地域の教育力

「地域の教育力」が自身の子ども時代と比較して、「以前に比べて低下している」と感じる保護者は過半数。



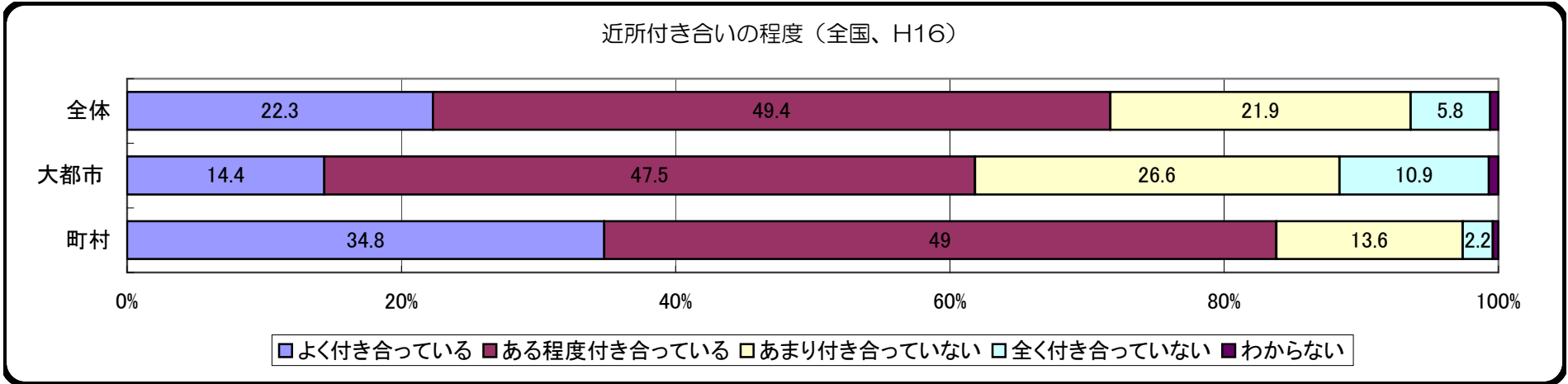
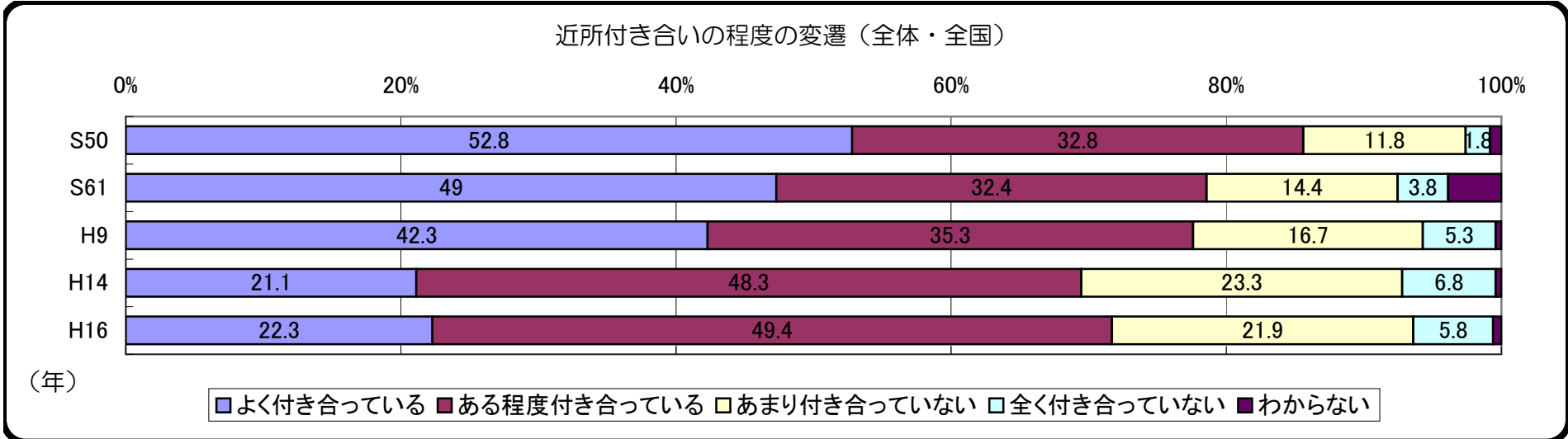
(出典)平成18年「地域の教育力に関する実態調査」

※14項目の中から3つまで選択。上記グラフは上位5項目の回答率。

(参考資料) 中央教育審議会生涯学習分科会 第37回配布資料

IV- 1. 意識調査の状況 ④近所付き合いの程度

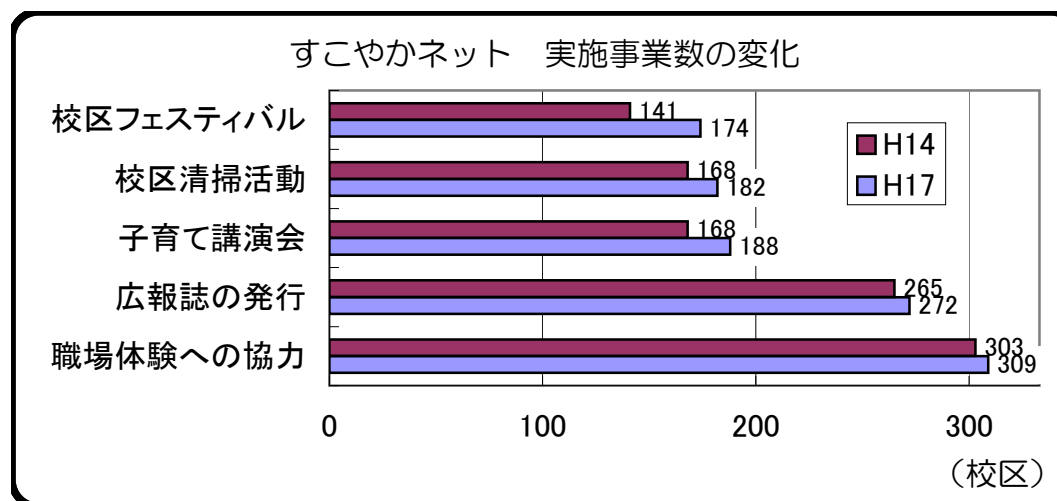
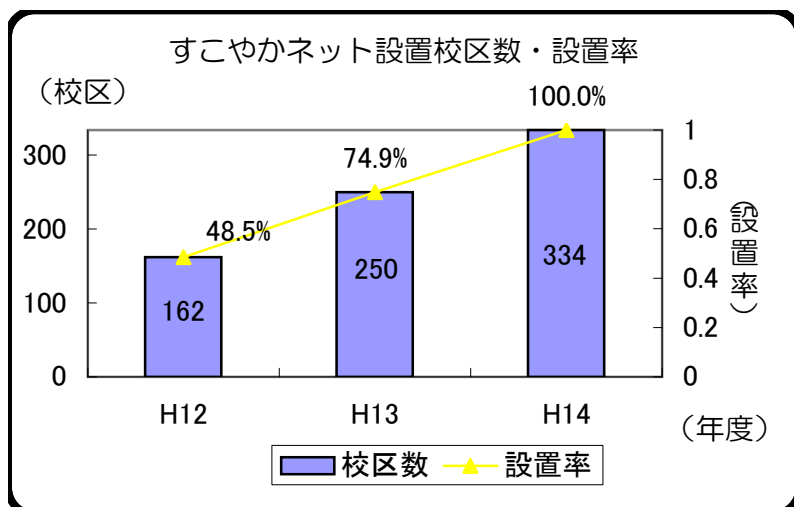
近所付き合いは平成14年頃までは低下し続けたが、近年回復傾向。  
大都市と町村を比較すると町村において「よく付き合う」とする割合が2倍以上。



(参考資料) 内閣府「社会意識に関する世論調査」  
 ※平成9年以前は左から「親しくつきあっている」「付き合いはしているがあまり親しくない」「あまり付き合っていない」「全く付き合っていない」「分からない」となっている

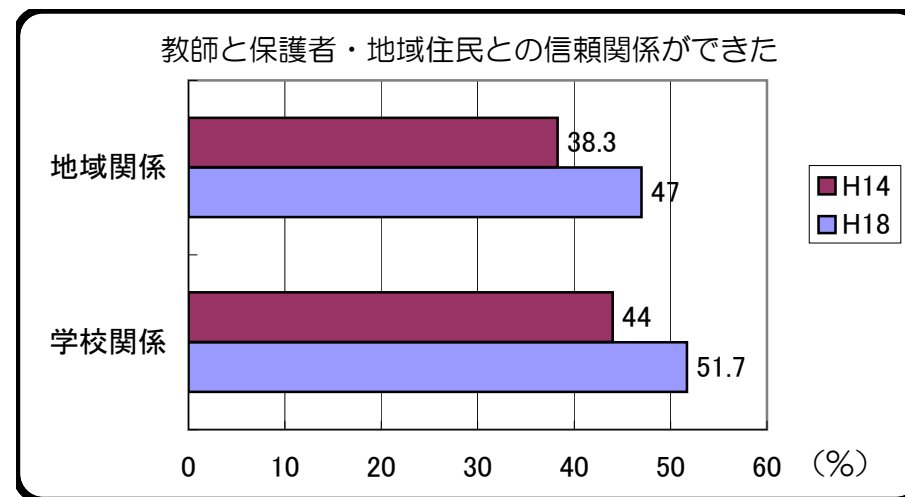
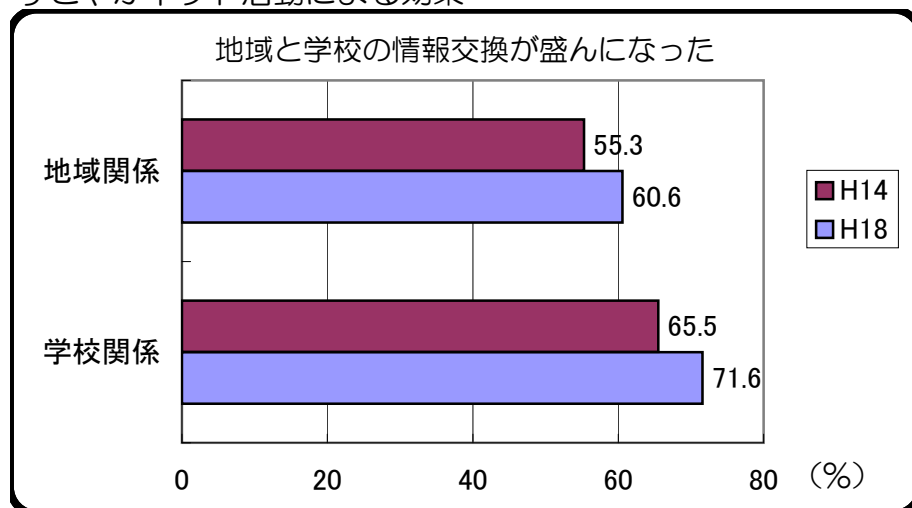
## IV- 2. すこやかネットの状況①

大阪府のすこやかネットの活動で多いのは、「広報誌の発行」や「職場体験への協力」。  
その効果は学校関係者により評価されている。



※3年間で府内全中学校区に設置 ※現在「333」(堺市で1減)

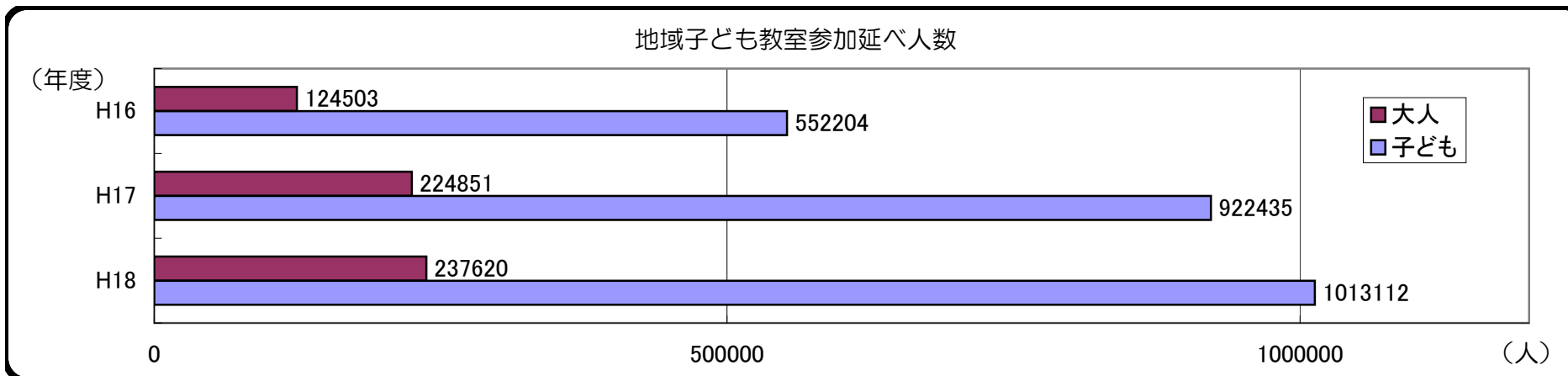
### すこやかネット活動による効果



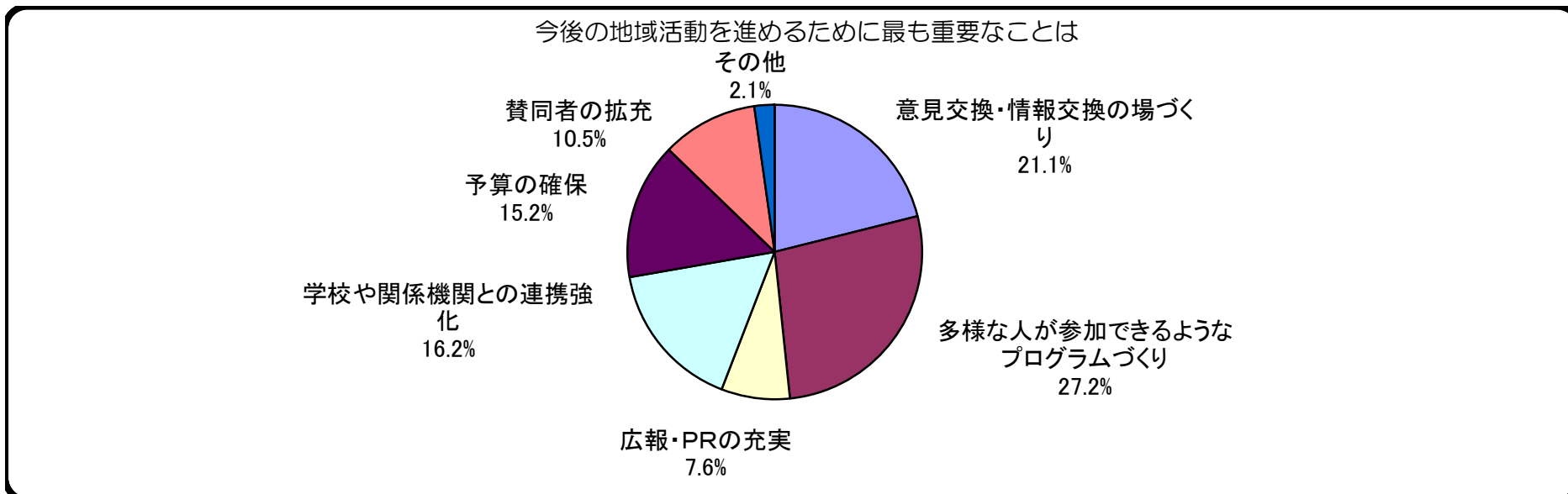
※大阪府教育委員会調べ

## IV- 2. すこやかネットの状況②

地域活動をすすめるにあたって、最も重要なのは「多様な人が参加できるプログラムづくり」。



※大阪府教育委員会調べ



※「こころの再生」府民運動 子どもの未来ハートフルプロジェクト～地域活動実践者に対するアンケート調査結果より～（平成18年度）

